グラフを扱おう: 最短路問題

北海道大学 情報科学研究科 修士1年 栗田和宏

グラフの定義(数学)

- > グラフとは集合の組であり、G = (V, E)と表される。ここで $E \subseteq (V, V)$ である。
- > Vを頂点集合と呼び、Eを辺集合と呼ぶ。

グラフの表現法

- > グラフを表現する方法として2つ考えられる.
- 1. 隣接行列
- 2. 隣接リスト

グラフの表現法

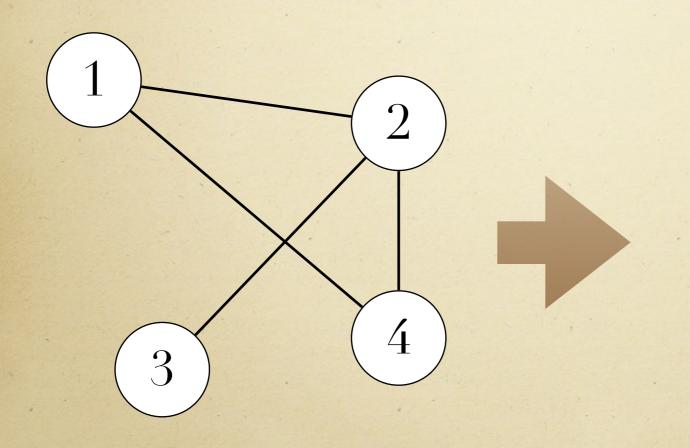
- > グラフを表現する方法として2つ考えられる.
- 1. 隣接行列 メモリ: 大 検索: 速
- 2. 隣接リスト メモリ:小 検索:遅

隣接行列

> グラフの各頂点間の隣接関係を行列で表す.

隣接行列

> グラフの各頂点間の隣接関係を行列で表す.



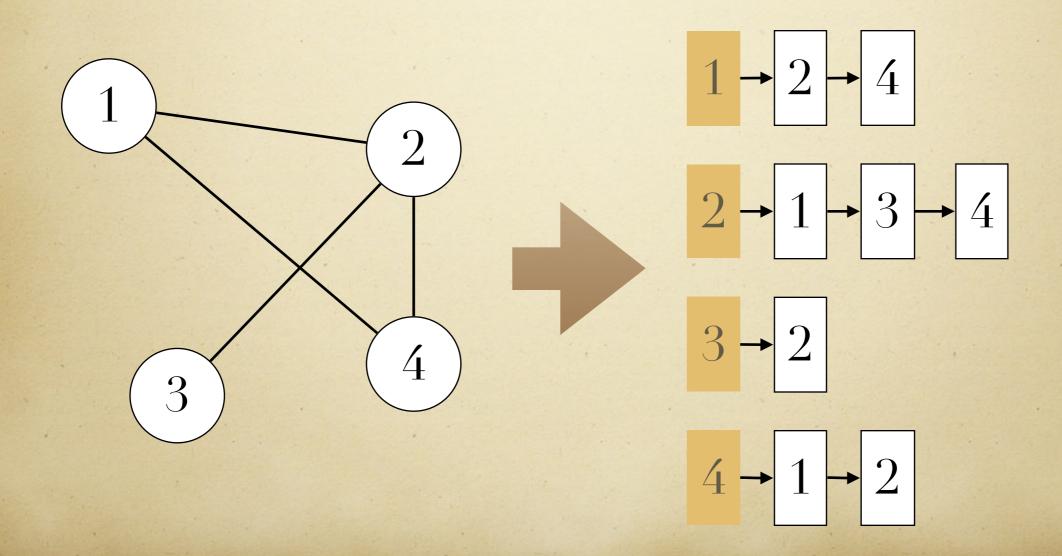
0	1	0	1
1	0	1	1
0	1	0	0
1	1	0	0

隣接行列

⇒ 隣接行列にはO(V²)のメモリとある2頂点間に辺があるかを検索するのにO(1)時間がかかる

隣接リスト

> グラフの各頂点の隣接関係をリストで保持する.



隣接リスト

⇒ 隣接リストにはO(V + E)のメモリとある2頂点間に 辺があるかを検索するのにO(E)時間がかかる.

単一始点最短路問題

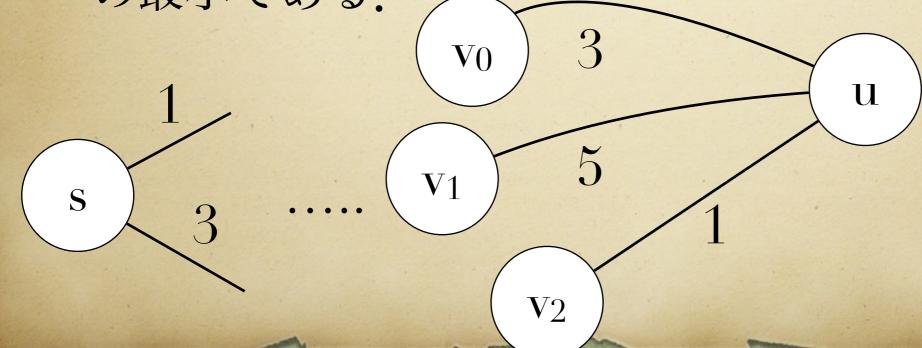
⇒ 単一始点最短路問題とは与えられた頂点sから他のすべての頂点への最短路を求める問題である。

単一始点最短路問題

- ⇒ 単一始点最短路問題とは与えられた頂点sから他のすべての頂点への最短路を求める問題である。
- シベルマンフォード法
- シダイクストラ法

最短路の性質

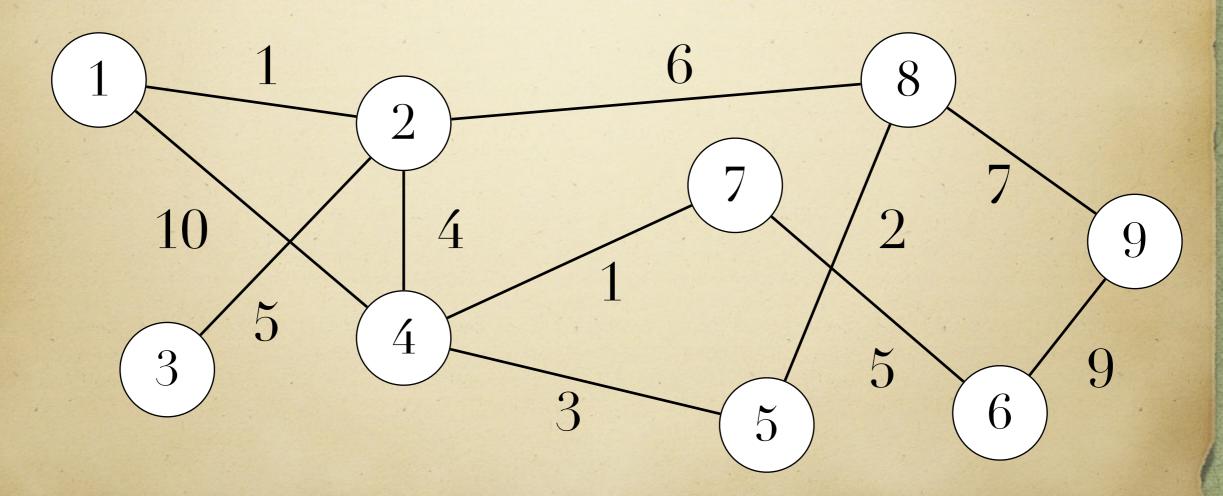
- > 最小コストの重要な性質として次のことが言える.



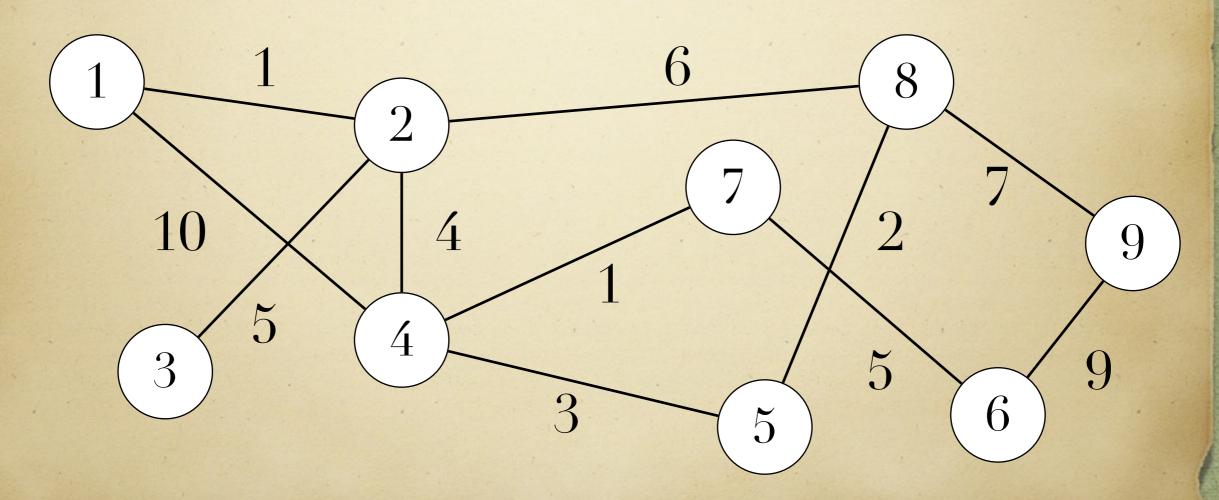
ベルマンフォード法

- 1. 始点以外のコストをINFに, 始点のコストを0に する.
- 2. すべての辺を使い、コストを更新する
- 3. コストの更新ができなかったら終了, 更新ができ たら2に戻る.

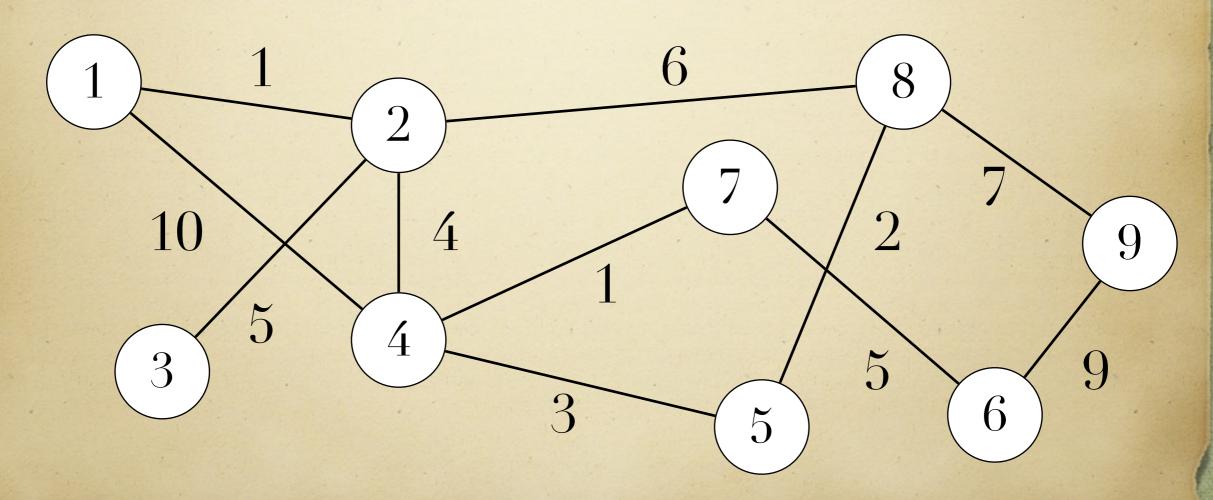
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	INF							



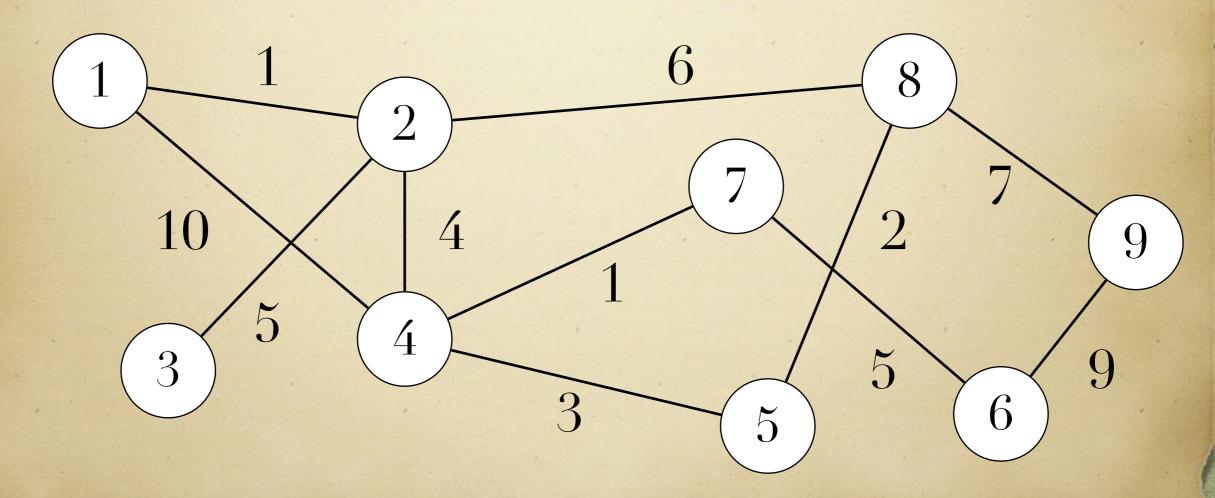
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	INF	10	INF	INF	INF	INF	INF



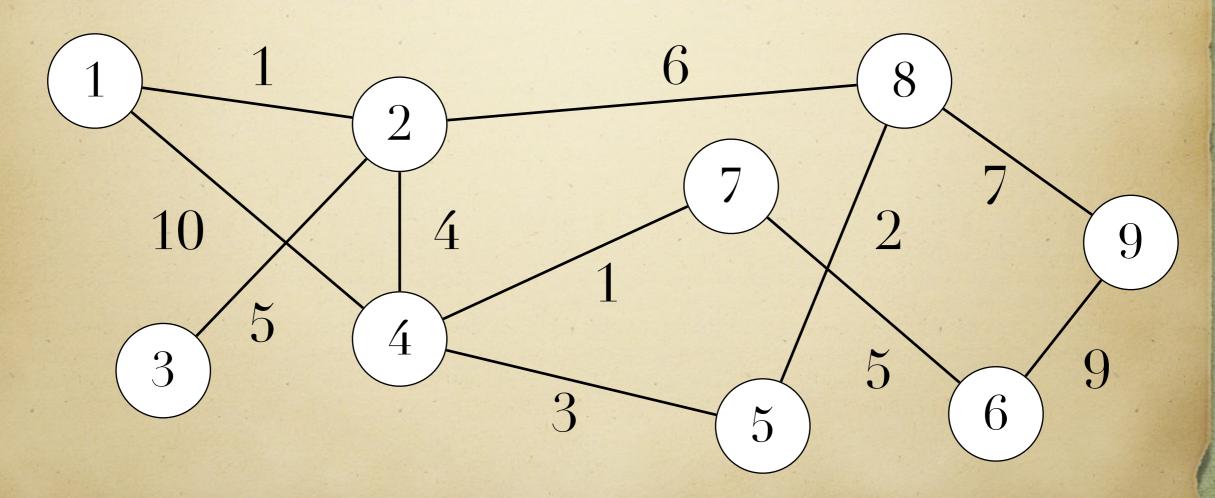
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	INF	10	INF	INF	INF	INF	INF



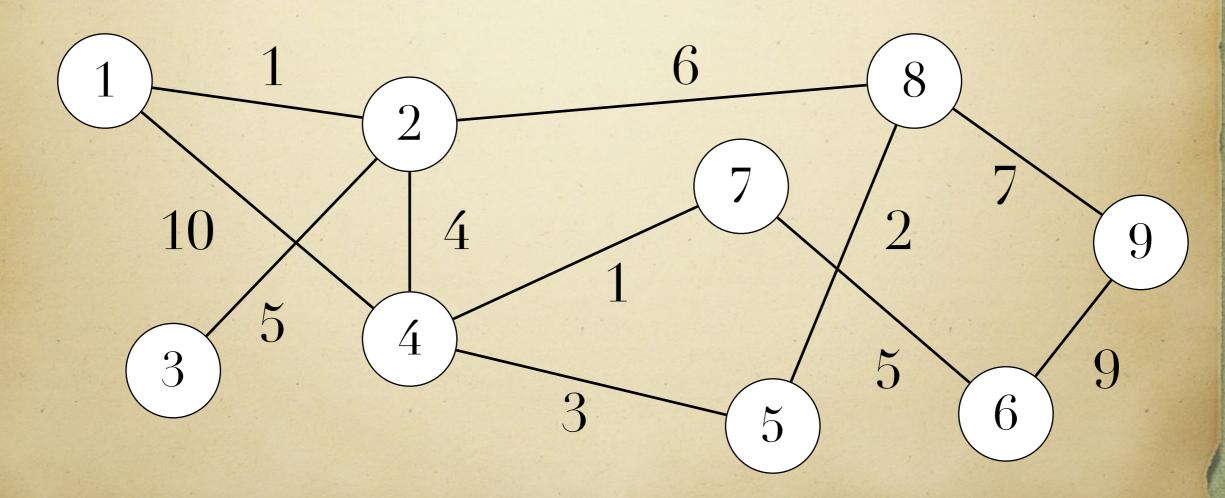
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	6	5	13	INF	11	7	INF



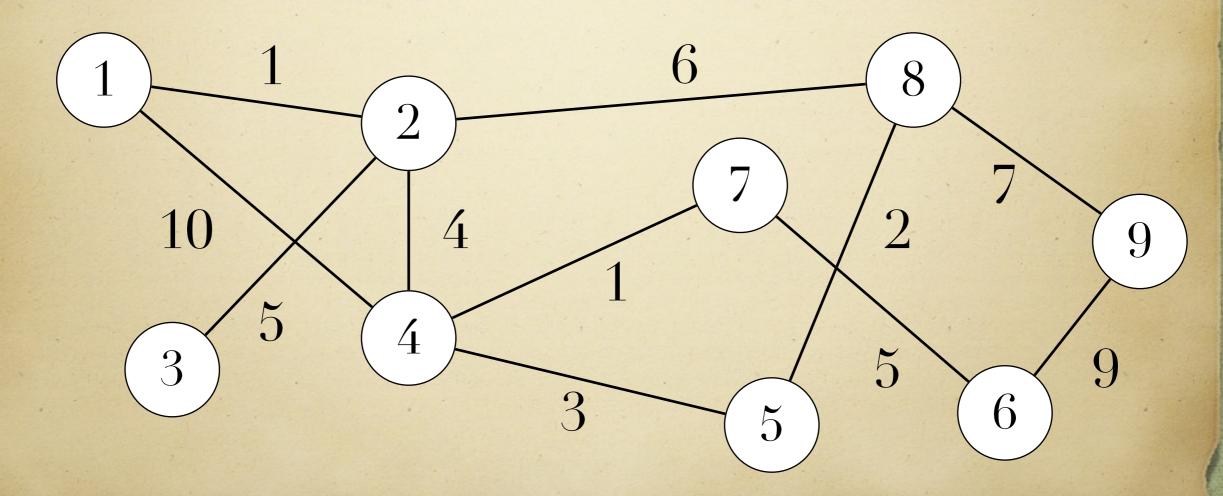
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	6	5	13	INF	11	7	INF



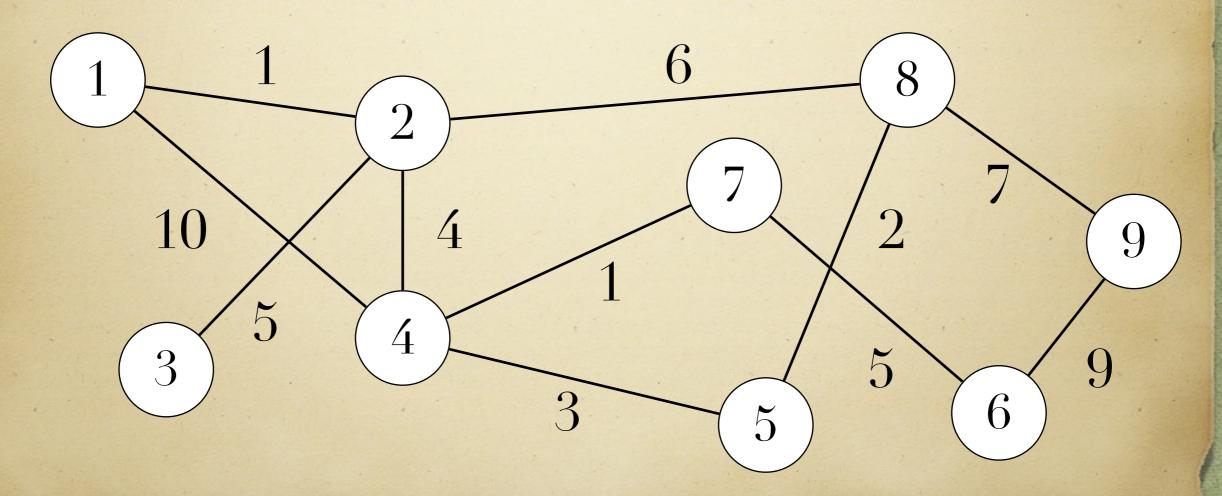
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	6	5	8	16	6	7	14



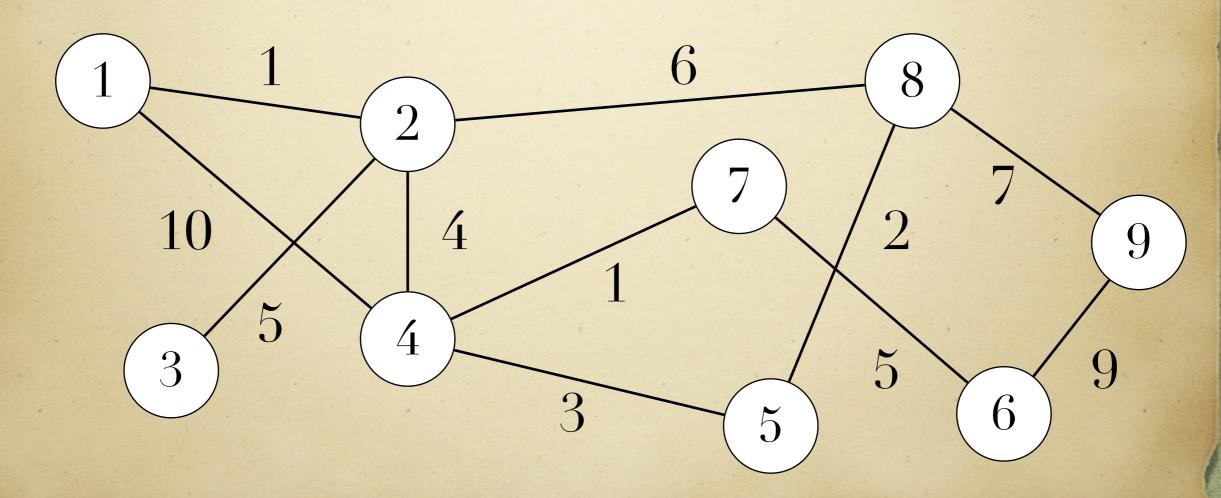
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	6	5	8	16	6	7	14



1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	6	5	8	11	6	7	14



1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	6	5	8	11	6	7	14



計算量

- ⇒ 時間計算量: O(VE) もしくは O(V³)
- ⇒ 空間計算量: O(E) もしくはO(V²)
- > 時間計算量はグラフを隣接リストで持っておくと O(VE)になり、隣接行列で持っておくとO(V³)と なる.

コードの例:

ベルマンフォード法

https://github.com/kazu0423/procon_example/ blob/master/bellman_ford.cpp

計算量の解析

- while文が入っていて、ぱっと見での計算量が わかりづらい。
- > このwhile文は最大V 1回のループをする
 - → なぜなら1回のループで少なくとも1つの頂点の
 - 最短コストが決定するからである.

計算量の解析

- ⇒ while文中の計算量はすべての辺についての操作を しているのでO(E)となる.
- ⇒全体としてはO(VE)となる.

ダイクストラ法

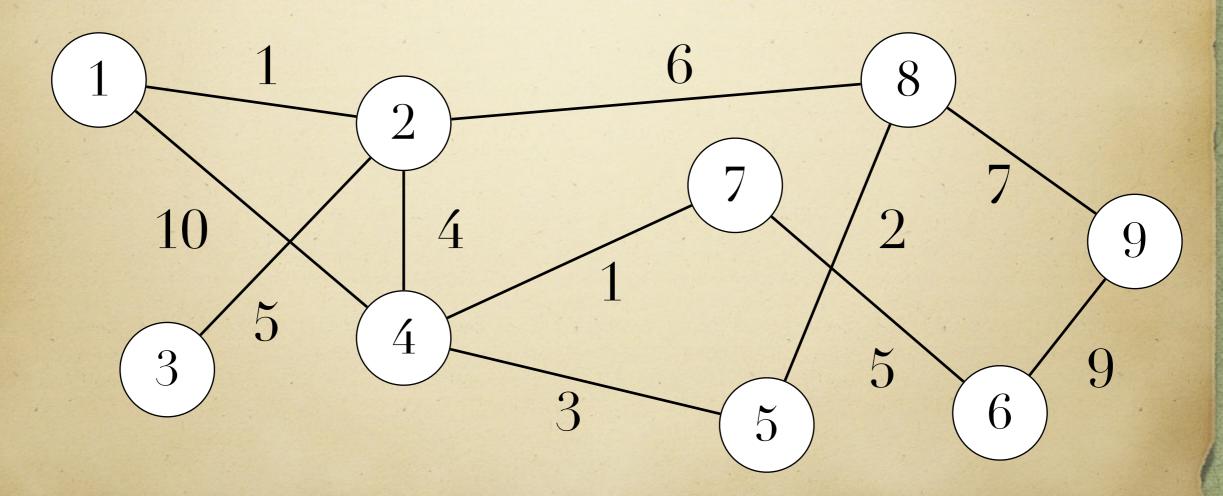
- ⇒ ベルマンフォード法よりももっと高速に最短路を 求めるアルゴリズム.
- > 仮定としてすべての辺のコストを非負とする.

ダイクストラ法

- ⇒ ベルマンフォード法よりももっと高速に最短路を 求めるアルゴリズム.
- > 仮定としてすべての辺のコストを非負とする.
- ⇒ ベルマンフォード法では最小コストが決定していない頂点に対しても更新をしていた。
- >このような更新は無駄である.

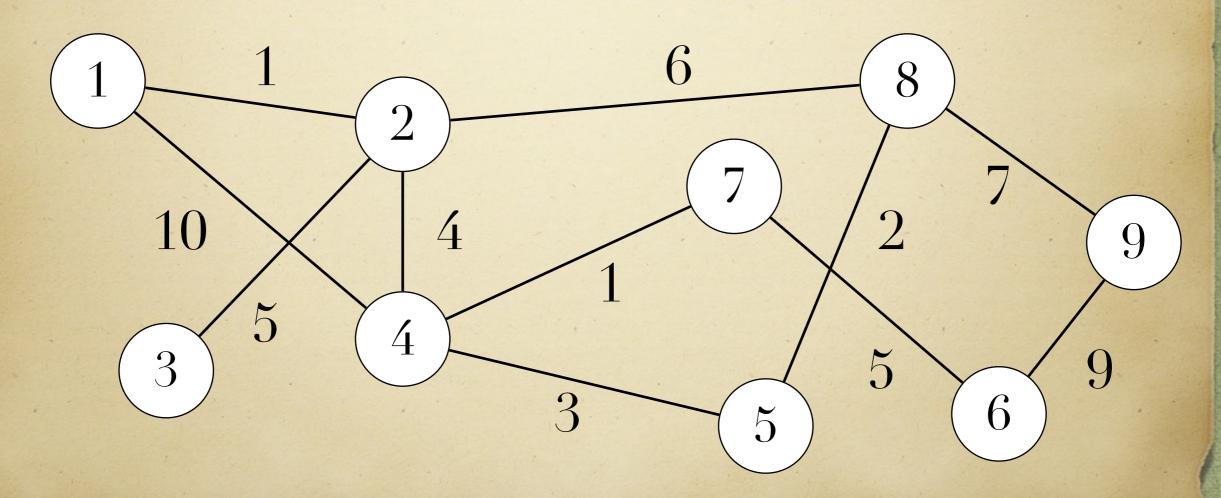
不要な更新

1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	INF							



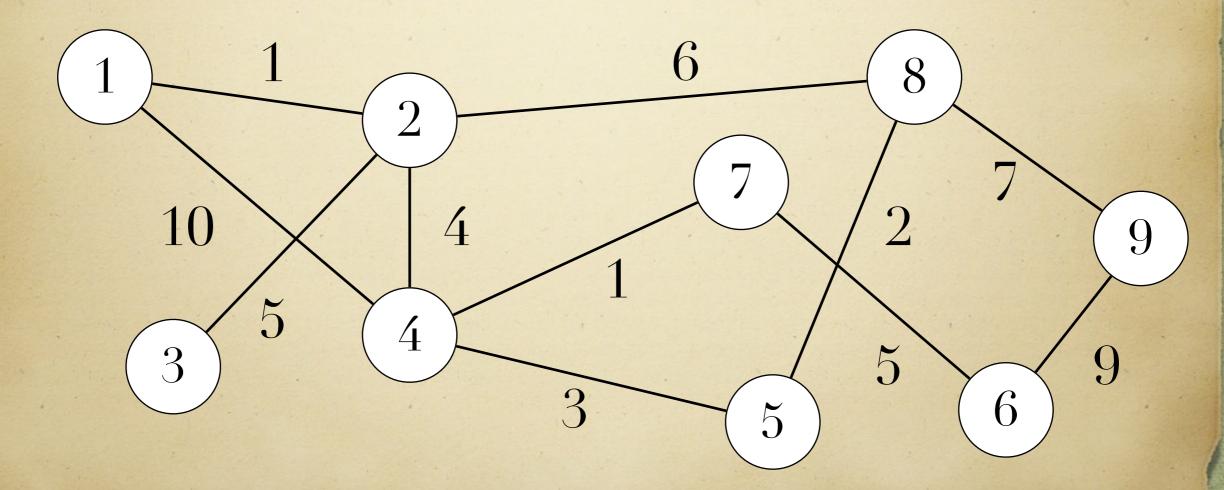
不要な更新

1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	INF	10	INF	INF	INF	INF	INF



不要な更新

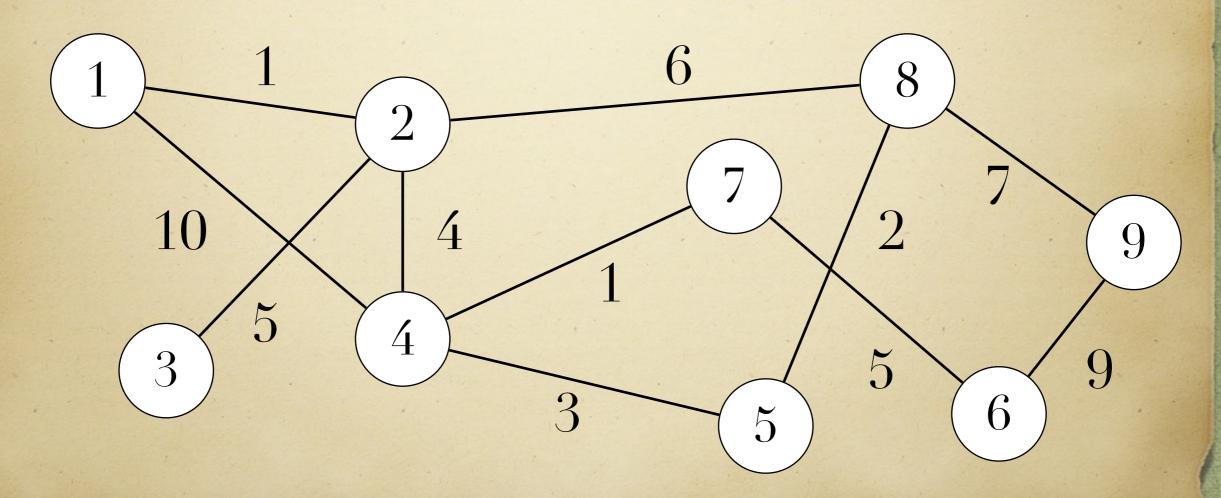
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	INF	10	INF	INF	INF	INF	INF



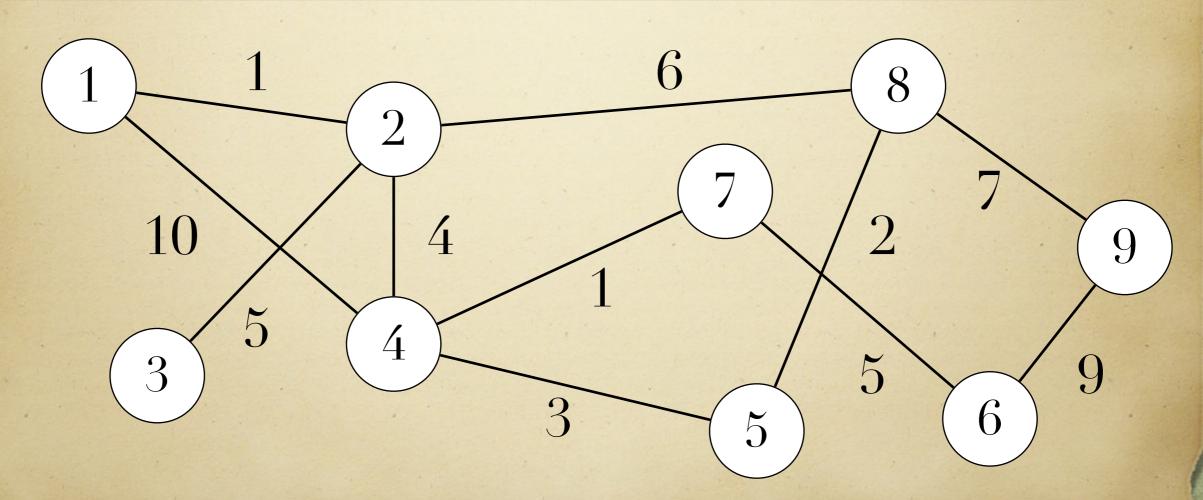
なぜ不要か?

- > 背理法で証明する.
- ⇒ 仮定として現在最小コストが決まっていない頂点の中でコスト最小の頂点がもっと小さいコストでその頂点に行けると別のパスがあると仮定する.
- > そのようなパスは存在しないことが証明できる.

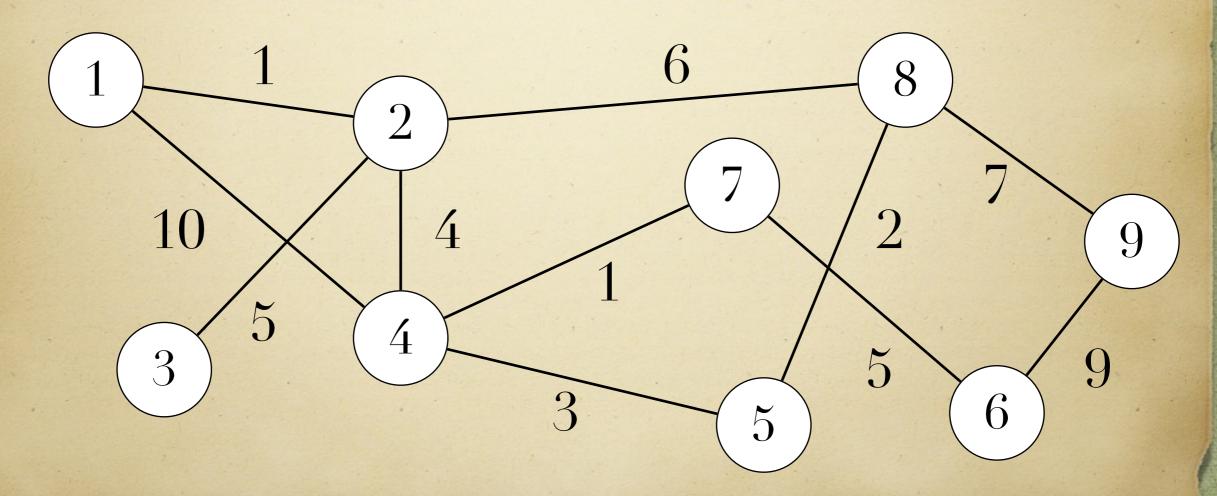
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	INF							



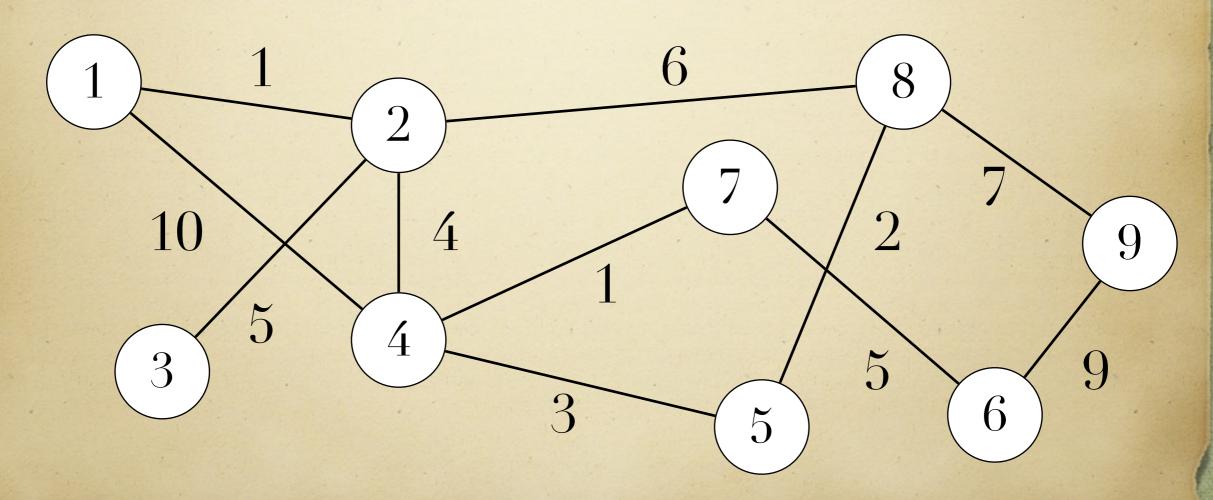
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	INF	10	INF	INF	INF	INF	INF



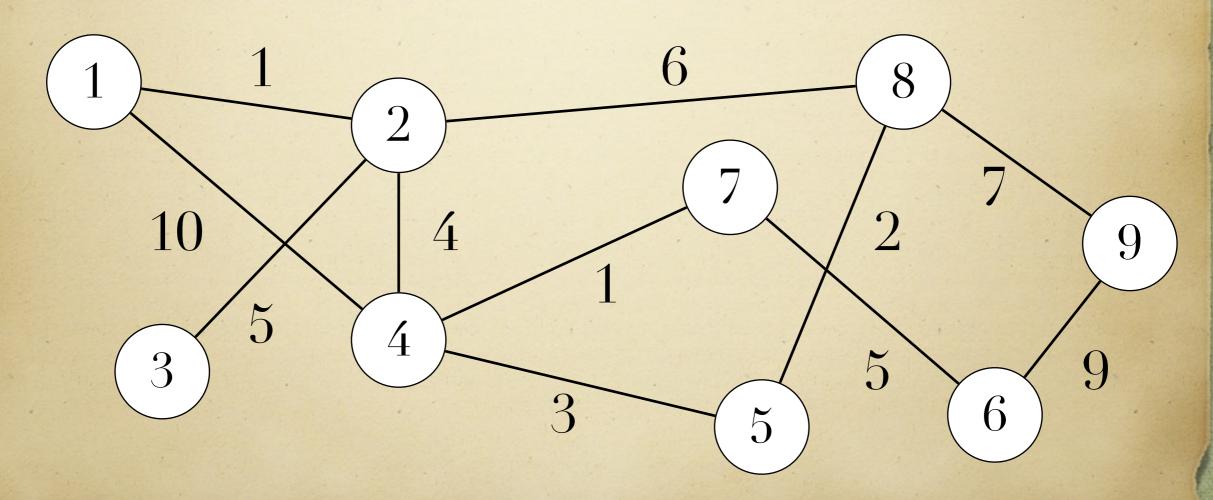
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	INF	10	INF	INF	INF	INF	INF



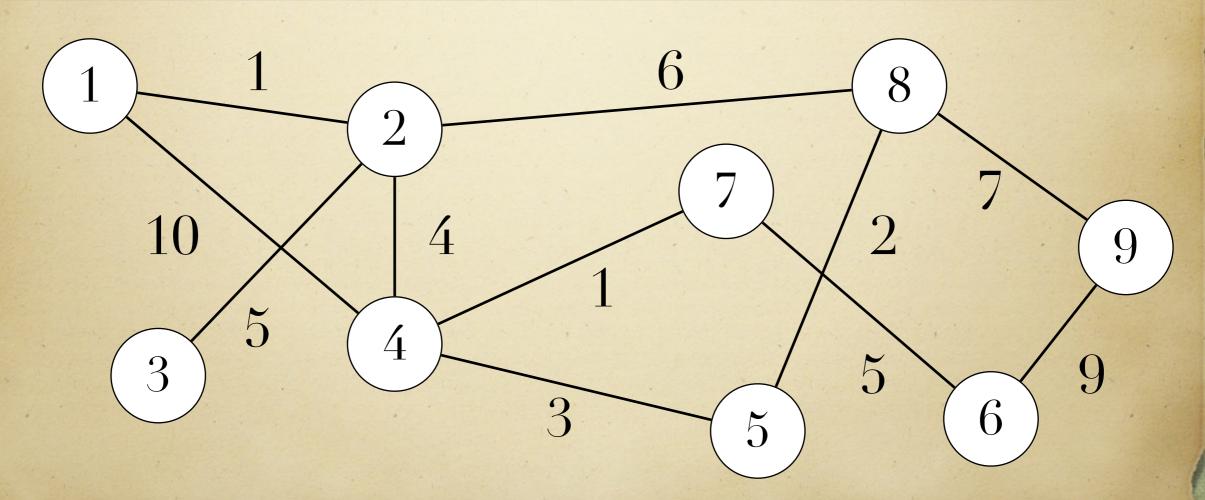
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	6	5	INF	INF	INF	7	INF



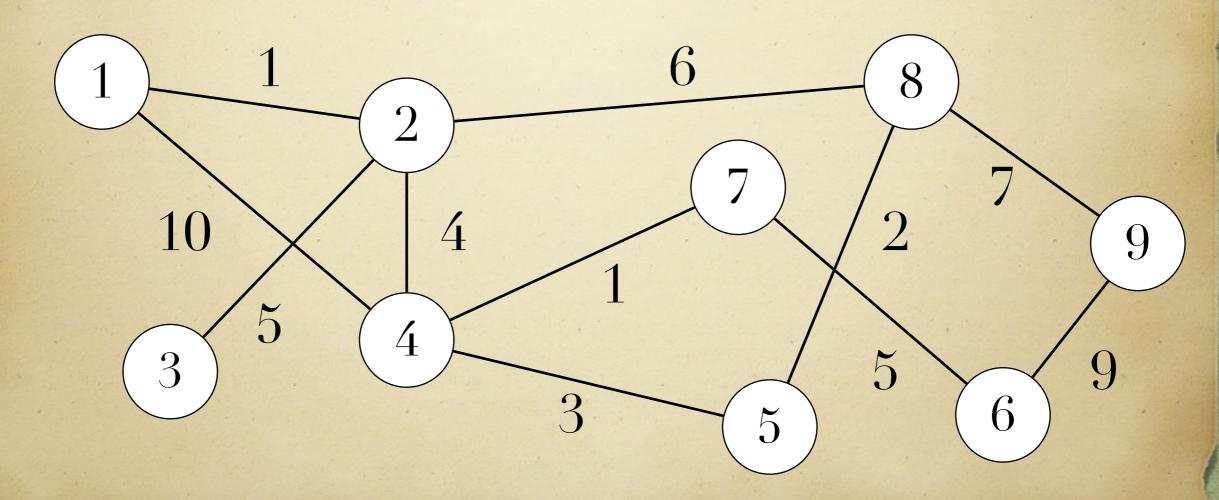
1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	6	5	INF	INF	INF	7	INF



1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	6	5	INF	INF	INF	7	INF



1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	1	6	5	8	INF	6	7	INF



コードの例: ダイクストラ法

https://github.com/kazu0423/procon_example/ blob/master/dijkstra.cpp

全点对最短路問題

⇒ 全点対最短路問題とは任意の2点間の最短路を 求める問題である.

全点对最短路問題

- ⇒ 全点対最短路問題とは任意の2点間の最短路を 求める問題である.
- プワーシャルフロイド法

ワーシャルフロイド法

- ⇒ dp[i][j]を頂点iから頂点jまでの最小コストを記憶 する変数とする.
- > dpの初期状態は隣接行列になっており、隣接していない頂点同士のコストはINFとする.
- ⇒ dp[i][i] = 0とする. (自分から自分はコスト0)

ワーシャルフロイド法

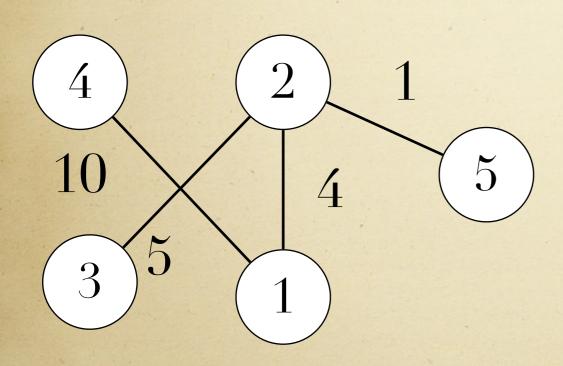
```
for(int k = 0; k < n; k++)
for(int i = 0; i < n; i++)
for(int j = 0; j < n; j++)
dp[i][j] = min(dp[i][j], dp[i][k] + dp[k][j]);</pre>
```

kのループ

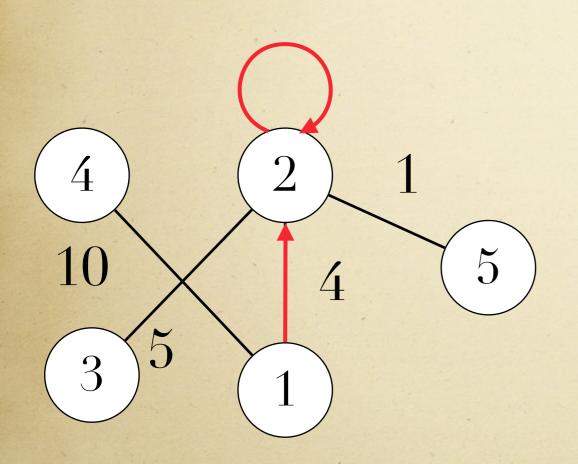
▶ kのループを以外の部分では、大体のイメージとして任意の2点間の距離について何かの更新をしていることがわかる。

kのループ

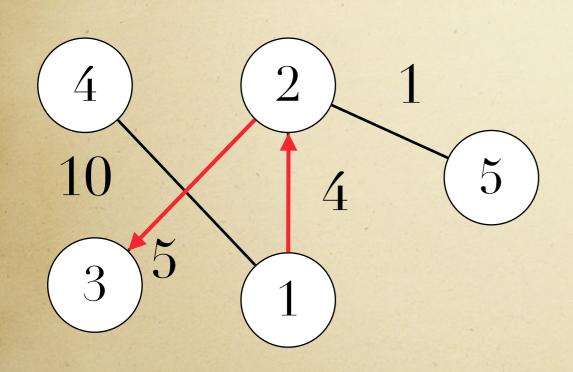
- ▶ kのループを以外の部分では、大体のイメージとして任意の2点間の距離について何かの更新をしていることがわかる。
- > kは途中で立ち寄る頂点がどこなのかを 決めている.



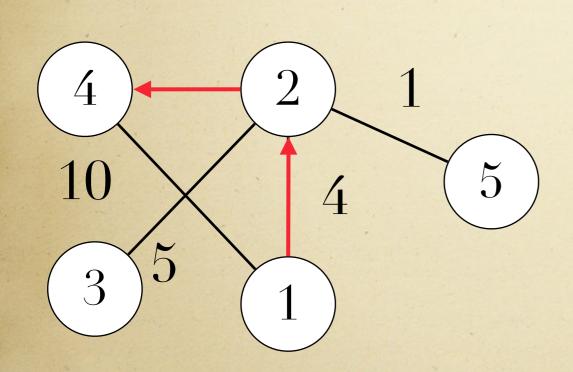
	1	2	3	4	5
1	0	4	INF	10	INF
2	4	0	5	INF	1
3	INF	5	0	INF	INF
4	10	INF	INF	0	INF
5	INF	1	INF	INF	0



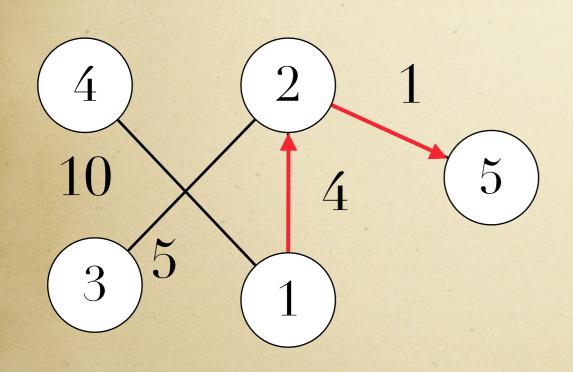
	1	2	3	4	5
1	0	4	INF	10	INF
2	4	0	5	INF	1
3	INF	5	0	INF	INF
4	10	INF	INF	0	INF
5	INF	1	INF	INF	0



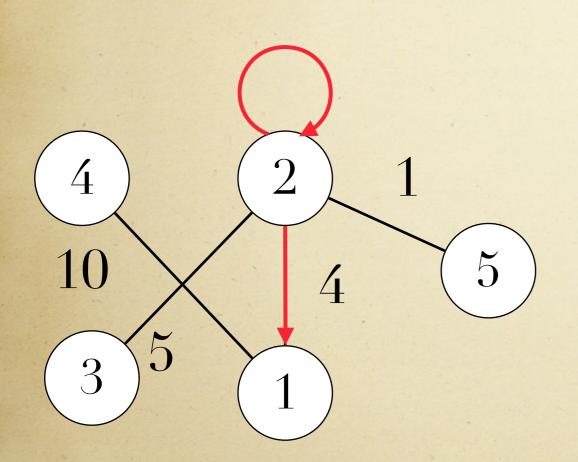
	1	2	3	4	5
1	0	4	9	10	INF
2	4	0	5	INF	1
3	9	5	0	INF	INF
4	10	INF	INF	0	INF
5	INF	1	INF	INF	0



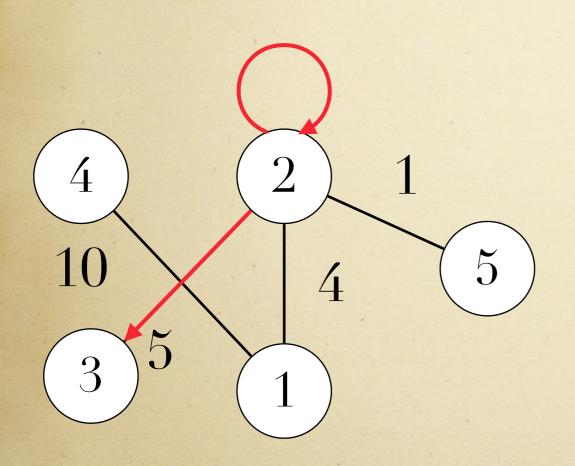
	1	2	3	4	5
1	0	4	9	10	INF
2	4	0	5	INF	1
3	9	5	0	INF	INF
4	10	INF	INF	0	INF
5	INF	1	INF	INF	0



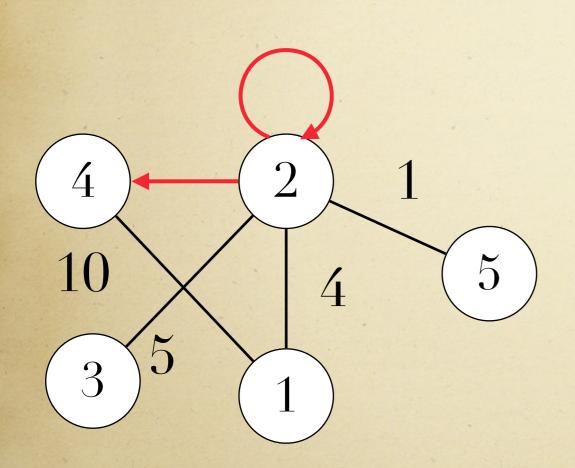
	1	2	3	4	5
1	0	4	9	10	5
2	4	0	5	INF	1
3	9	5	0	INF	INF
4	10	INF	INF	0	INF
5	5	1	INF	INF	0



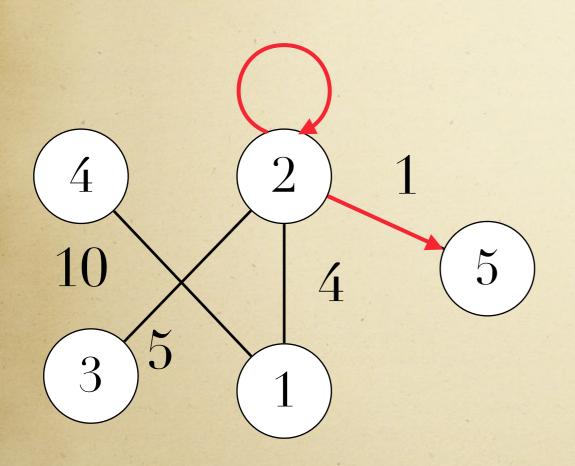
	1	2	3	4	5
1	0	4	9	10	5
2	4	0	5	INF	1
3	9	5	0	INF	INF
4	10	INF	INF	0	INF
5	5	1	INF	INF	0



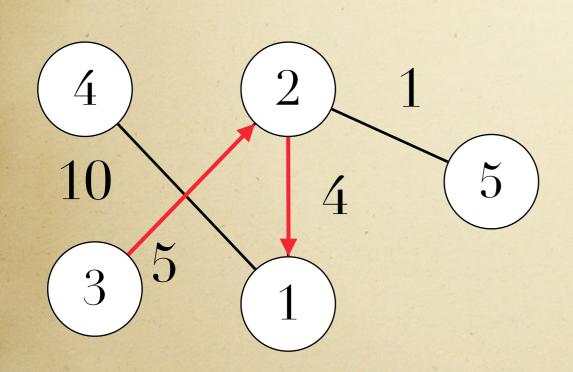
	1	2	3	4	5
1	0	4	9	10	5
2	4	0	5	INF	1
3	9	5	0	INF	INF
4	10	INF	INF	0	INF
5	5	1	INF	INF	0



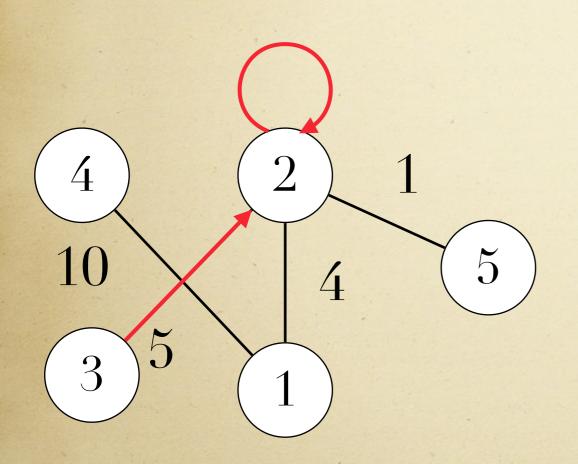
	1	2	3	4	5
1	0	4	9	10	5
2	4	0	5	INF	1
3	9	5	0	INF	INF
4	10	INF	INF	0	INF
5	5	1	INF	INF	0



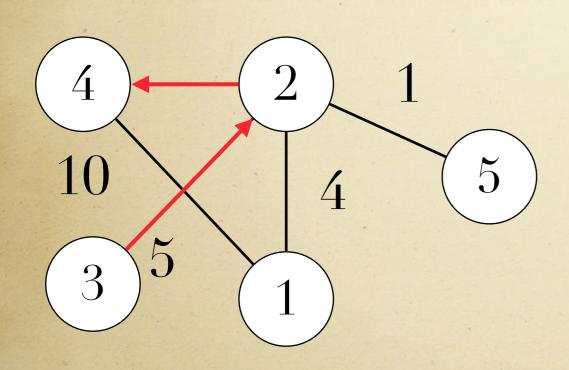
	1	2	3	4	5
1	0	4	9	10	5
2	4	0	5	INF	1
3	9	5	0	INF	INF
4	10	INF	INF	0	INF
5	5	1	INF	INF	0



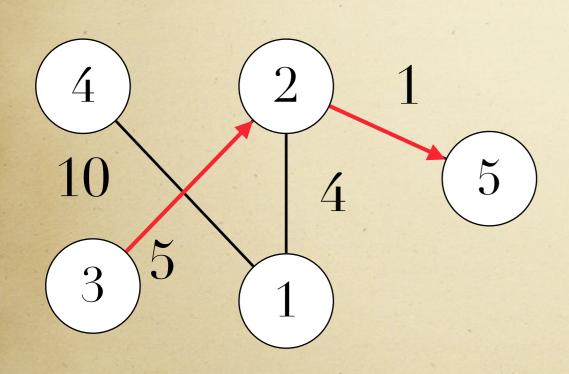
	1	2	3	4	5
1	0	4	9	10	5
2	4	0	5	INF	1
3	9	5	0	INF	INF
4	10	INF	INF	0	INF
5	5	1	INF	INF	0



	1	2	3	4	5
1	0	4	INF	10	INF
2	4	0	5	INF	1
3	INF	5	0	INF	INF
4	10	INF	INF	0	INF
5	INF	1	INF	INF	0



	1	2	3	4	5
1	0	4	INF	10	INF
2	4	0	5	INF	1
3	INF	5	0	INF	INF
4	10	INF	INF	0	INF
5	INF	1	INF	INF	0



	1	2	3	4	5
1	0	4	INF	10	INF
2	4	0	5	INF	1
3	INF	5	0	INF	6
4	10	INF	INF	0	INF
5	INF	1	6	INF	0

コードの例:ワーシャルフロイド法

https://github.com/kazu0423/procon_example/ blob/master/warshall-floyed.cpp

計算量

- > ほぼ自明
- > 時間計算量: O(V³)
- ⇒ 空間計算量: O(V²)

まとめ

- ングラフの表現
- ⇒ 単一始点最短路問題 ベルマンフォード法 ダイクストラ法
- > 全点対最短路問題 ワーシャルフロイド法